

わかたけ

春日部市立武里小学校

児童数 419名 (5/1)

平成29年5月1日発行

～ ありがとう ～

校長 高橋 信行

「〇年〇組の〇〇です。〇〇先生は、いらっしゃいますか。」「失礼しました。」など、子どもたちが職員室に入出入りする際、その場に合った礼儀正しい『あいさつ』がだいたい学校に定着してきました。また、朝の登校時の「おはようございます」や、廊下ですれ違う時の「こんにちは」でも、丁寧な会釈をともなった気持ちのよい『あいさつ』をしてくれる子が目立つようになってきました。こうして、人として大切な思いや心を、適切な言葉や行動で表すことができる子が増えてきている

ことを、とても嬉しく思います。『あいさつ言葉』は、人と人との関係を良好に保つ「暮らしの潤滑油」です。校内での実践を校外でもしっかり発揮できる子どもたちが、地域に豊かな活力を与える原動力となることを目指し、学校での指導も、より一層充実させていきたいと思ひます。

さて、先日、『最も美しい日本の言葉ベスト10』を目にする機会があったのですが、驚いたのは、ベスト10のほとんどが「こんにちは」「さようなら」などの『あいさつ言葉』だったことでした。このことから、やはり日本人は、日常的に交わし合っている『あいさつ』を大切に思っているとともに、その言葉を交わし合うことに、美的価値をも感じとっていることが分かります。子どものうちから、こうした日本の美しい文化とも言える『あいさつ』を、当たり前に行えるようにしていかなければいけませんね。断トツの1位に輝いた美しい言葉は「ありがとう」でした。この結果に文句のある人は、おそらくいないでしょう。その「ありがとう」に関して、こんな話があります。

「ありがとう」は相手に感謝の気持ちを伝えたい時に使う、とても心地よい波動をもつ素敵な言葉ですが、私たちは「ありがとう」の代わりに「すみません」も、よく使います。外国の人に日本語を教えるある塾では、感謝の意味も、謝罪の意味も、こんにちはの意味も、失礼しますの意味も「すみません」という言葉を、『たいていの場面で使うことができる、とても便利な日本語』として教えているのだそうです。確かに、私たちは日常のあらゆる場面で、「すみません」を頻りに使っており、感謝の気持ちを表す場面でさえ、最も美しい言葉である「ありがとう」よりも、「すみません」を多用しています。もともと「ありがとう」は、有り難い・有り得ないという意味で、めったにないこと・珍しく貴重であること、そして貴重で得難いものを自分が得られたことに感謝する、ということを表しています。フランス語の「メルシー」や、イタリア語の「グラッチェ」には、『神の恵みを』という意味があるのですが、「有り難う(ありがとう)」にも、同じような意味があると考えてもよいのではないのでしょうか。そう考えると、やはり相手への感謝の気持ちを表す時には、「すみません」ではなく、心を込めて「ありがとう」と言いたいものだかと、あらためて思ひます。以前、関西を旅行した際に気づいたのですが、関西の人たちは本当によく「ありがとう」を使っています。例えば、買い物をして、レジでレシートやおつりをもらう時など、ほとんどの人があの関西独特のイントネーションで「ありがとう」と言っていました。とても自然に「ありがとう」を使いこなしている姿を目の当たりにし、身近な所ではめったに見られない光景だっただけに、何だかうらやましさを感ずることを覚えています。

今回は、「ありがとう」という言葉について考えましたが、様々な言葉には、それぞれの語源や適切な使い方があり、深く知れば知るほど言葉を大切にしていきたいとなります。子どもたちが、より豊かな言語環境の中で生活していけるよう、日々の教育実践の一層の充実を図っていきたく思ひます。



平成29年度入学式



11日(火)に入学式を行い、81名のかわいい1年生が入学しました。入学式当日は生憎の雨模様でしたが、雨雲を吹き飛ばすぐらいに元気に輝いていた1年生の姿が見られました。

この1か月で新しい友だちもでき、子どもたちは元気に活動をしています。明治時代から続く武里小の伝統を担う、立派なわかたけ子に成長してくれることと思ひます。

授業参観・懇談会



4月21日(金)、25日(火)に、今年度最初の授業参観・懇談会が行われ、多くの保護者の皆様に御出席をいただきました。

今後も、本校の教育活動を積極的に公開・発信してまいりますので、保護者の皆様の御理解、御協力をお願いします。

1年生を迎える会



20日(木)に1年生を迎える会がありました。在校生による歓迎の言葉や1年生のお礼の演技など、とても盛り上がりしました。

進級して1か月 ～武里小の朝の風景～

4月10日の始業式から1か月。新しい学年、新しいクラスにも慣れ、本格的に今年度の武里小が動き出しました。児童が登校した後、武里小の朝の校庭はとても活気に満ち溢れています。先生と逆上りの特訓をする子どもたち。烏骨鶏の世話や校庭の砂ならしなどの委員会活動に取り組む子どもたち。そして、朝マラソンに汗を流す子どもたち。朝から元気いっぱいの武里小が、今年度も始まりました。

